

日々暮らしの中での健康づくりと水環境改善への取り組み

大矢野町漁協婦人部

森川 メグミ

1 地域の概況

私の住む天草郡大矢野町は、熊本市から西南に50キロの天草五橋1号橋を渡った、天草の玄関口である。

大矢野町は、五つの有人島と十三の無人島で構成され、人口18,800人、世帯数5,762世帯で天草郡内で最大の町である。

年中霜の降らない温暖な所で「花と車エビの町」と言われ町では、「この自然の恵みを永遠に」をキャッチフレーズに町民あげてむらづくりに取り組んでいる。

昭和42年天草五橋の開通により、雲仙国立公園に指定され海の幸による観光も盛んとなり、風光明媚な景観は実に素晴らしいものがある。

2 漁業の概況

私の所属する大矢野町漁協は、組合員数1,246人（正組合員637人、准組合員627人）で県下でも有数の規模の漁協で、本支所あわせて4つの事業所から成っている。

主たる漁業種類は一本釣り、延縄、刺し網、いかかご、たこつぼ漁業等の沿岸漁業で、漁協への水揚げは1,021トン（1,049,380千円）である。

漁協事業としては販売、購買、信用の3事業を推進しているほか、共済事業にも積極的に取り組んでおり、県下でも有数の共済契約件数を誇っている。

3 研究グループの組織及び運営

大矢野漁協婦人部員は現在170名で、各集落毎組織した地区部会毎に役員を選出し、年度当初に活動内容を検討しながら健康づくりや環境改善活動を活発に行っている。

婦人部の発足は昭和51年で最初の取り組みは貯蓄運動で、決められた日に役員が集金し、婦人部員の口座に貯金する方法であった。

この活動は地味であったが大きな出費が必要なとき大変助かった。しかし、活動を進める中でより広い活動の要望が多く、町の「健康教室」として食生活の改善に取り組んだ。

4 研究・実践活動課題選定動機

豊かな暮らし実現のために、長年技術習得の研修会を実施したが、学習する中で、近年、海の環境悪化の一因が家庭排水にあることを知り、環境負荷削減のため婦人部として生活の中で改善出来ることを実践しようと、生活雑排水の改善に向け行動を開始した。

5 研究・実践活動状況及び効果

昭和58年度より健康教室を開催し、自分だけでなく家族の健康生活を目標に技術や知識の習得を継続的に行い、家族や地域で喜ばれている。

各種の集団検診の受診率の上昇も、このような学習の成果による意識の変化によるものと自負している。

また、大矢野町主催の健康祭りでは海産物を使った創意工夫した料理の出品に町民の関心は高い。

最近では、海産物に付加価値をつけた加工品の研究も行い、魚のみりん干しやのりやあさりの佃煮等流通に乗せられるような商品作りの研修も行っている。

平成6年度より、長年の活動が認められ熊本県貯蓄実践地区として指定を受け、心豊かな暮らしをめざした活動の展開を行っている。

海の汚染の原因として生活雑排水が問題になっている中で、周囲を海に囲まれている漁協婦人部としても、粉せっけんの普及や共同で廃油による手作りせっけんを作っているが、平成7年度町で購入した粉せっけん製造機械を利用して粉せっけんを作っている。

粉石けんは、家庭から出る廃油を利用するもので、大矢野町には海沿いに旅館も多く廃油処理として貢献することにもなった。

製造方法としては、廃油を攪拌の付いた釜に入れ攪拌させながら加熱し、様子を見ながら水に溶かした苛性ソーダーを少しづつ入れていく。

全体が少し固まってきたら釜の運転と火を止め、専用の攪拌棒で攪拌した中にソーダ灰を入れ再度釜を動かし攪拌しながらバラバラになるよう細かく粉碎させる。

釜から粒状の石けんを取り出し、シートの上で荒熱を取り乾燥後粉碎器に掛け粉末にすると、市販の粉石けんと全く同じものができあがる。

出来立ての粉石けんは、アルカリ度が高いので3日程は使用しない方がよい。

釜を利用する粉石けんは、一度に35kg程度出来るので婦人部では、共同作業しながら、婦人部員宅に配布し生活の中で利用している。

粉石けんは、水には溶けにくいがお湯を利用すると溶けやすい。子供や船内で汚れた作業衣の洗濯では汚れが良く落ちる。

その他農山漁村の女性の特性を生かして、生活技術としてリフォームや手芸等の向上や高齢化社会に向けての介護の習得を行っている。

また、農漁村女性の社会的地位向上に向け婦人部でも講師を囲み知識習得を行っているところでもある。

6 波及効果

婦人部では粉せっけん「わかしお」の普及に早くから取り組み生活雑排水や海の汚染の改善に努力したことが、町の農村婦人の家の利用団体である婦人会や農協婦人部等へも波及し、平成7年度には町が粉せっけん製造機械を購入したことで町をあげての普及が期待でき、環境改善に結びつくものと期待される。

7 今後の課題

健康づくりはもとより、地域あげての環境改善にさらに努力したい。

そのためにも定期的に事業所を含めて廃油の回収を行い、計画的な粉せっけんの製造と各家庭への配布を推進したい。

また、従来からの夢である水産加工施設の建設による、商業ベースでの水産加工品の製造、販売の実現。

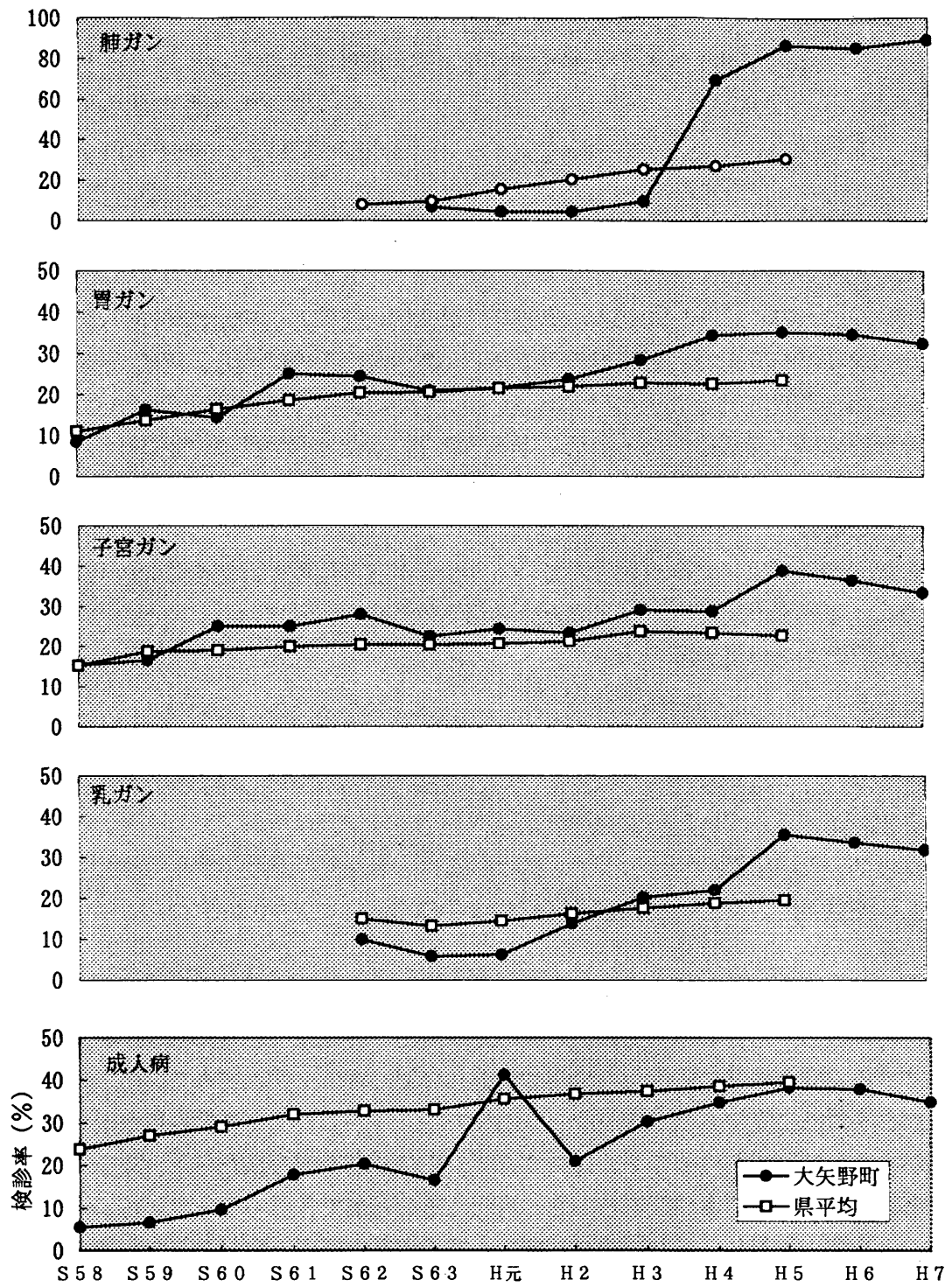


図1 大矢野町健康診断の受診率の推移